

# 論理欠損民族＝現代日本人！！ 2025/1/23

マタイによる福音書 5:37:あなたがたの言葉は、ただ、しかし、しかし、否、否、であるべきだ。それ以上に出ることは、悪から来るのである。

## 「日本のどこがダメなのか？」に対する中国ネット民の驚きの回答 日本通の答え

<https://gendai.media/articles/-/54234?page=3>

以下は現代中国人の的を得た有難い忠告、筆者も国内人交渉で難儀最大原因がこれです。

1. どんなものでも「日本化」したあとは、器が小さくなり「井のなかの蛙」的な雰囲気をもとう。
2. 「井のなかの蛙」になるとは、自分たちが永遠に他よりも優れていると陶酔的に思い込むことだ。日本は本当の改革をやりたいがらないのに、世界が自分たちから遠ざかっていることを受け入れられない。中国が刻一刻と進歩を模索しているのとは大違いだ。

中国人のなかには、中国がまだまだ非常に遅れているのに対して、日本は各方面で世界のトップクラスの水準にあって国民は幸福に暮らしているのだから、日本人が「井のなかの蛙」になるのも当然だろうと考える向きもある。ただ、私はすべてがあながちそうとは言えないと思う。

日本人が「井のなかの蛙」に甘んじる理由は、安逸に流れている以上に深刻な怯懦があるゆえだ。中国人は通常、「井戸の外」の景色を見ることを好み、外に出ていこうと考えて、世界に対して純粋な好奇心を持っているのだが、日本人はこうした純粋さや勇敢さや「ものごとをもっと知りたい」という冒険心をまったく失っていて、自分たちの世界の狭さを感じる時があっても「まあ仕方ないや」と自分を慰めるだけで終わる。

3.(略)

4.なのに日本人は非常に他国からの目を気にする。「外国人が大好きな日本の〇〇」といった話が非常に流行っていて、取るに足りないくだらないものごとを見つけて「世界で日本が大人気」といった曲解をおこないながら、日本の庶民はこんにちになっても、自分たちの文化が十数年前の水準並みであると思込んでいるが、この誤解には失笑を禁じ得ない。

5. 日本人は毎回、自分たちの誤りを総括する際にまずは言い訳を考え、改善する方法を考えることはほとんどない。

6. 日本人は(こうした言い訳の際に)自分を守る余地を残しておいて、いろいろと婉曲な表現をおこない、しかもそれこそが謙虚で大人らしい姿勢なのだと考えている。これがある種の責任回避に過ぎないことにまったく気付いていない。

7. 日本人はとにかく組織に架空の責任を負わせたがり、個人の責任を宙に浮かせたがる。トラブルが起きたときはみんなで「どうしよう」と言い合うが、誰ひとりとして問題を解決しようと勇敢に立ち上がることも、みんなで団結して問題に蹴りをつけようとするものもない。

結局最後にどうしようもなくなれば、世論に頼って責任を追うべき人間を選び出す。そうして選び出された人間がやるのは問題の解決では決してなく、謝罪して辞職して、あとは列車に飛び込むことだけだ。

8～17. (略)

私は日本人が悪であると言いたいわけではない。彼らは極めて誠実で善良だ。ただ、**彼らの骨身になんら明確な正義の概念がないだけである**。彼らはなにが正しくてなにが間違っているといったことを明言することができないのだ(以下略)。

---